

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	体表解剖学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年	学期及び曜時間	後期	教室名	5F機能訓練室
担当教員	辻 いづみ				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院、クリニックに勤務。医療安全管理学修士。認定理学療法士(学校教育)。				
《授業科目における学習内容》					
講義資料や教科書、骨標本を使用し、筋骨格を3次的にイメージし、実際に骨を指標としながら筋を触察する。 講義の後には学生同士で実際に触察を行い、個々の筋の走行や形状を学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
口頭試問(70%) 出欠・平常点・課題(30%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢、下肢・体幹 プロメテウス解剖学 コアアトラス 第4版					
《授業外における学習方法》					
教科書の写真やイラスト、骨模型をよく見ながら、骨や筋の形状をイメージできるようにする。 筋の起始・停止も言葉だけでなく、上記の教材を見ながら覚え、作用を体を動かしたりイメージしながら覚える。 事前に教科書で触診の手順を予習しておく。					
《履修に当たっての留意点》					
触診の際は爪を切っておくこと。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	肩甲骨の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)肩甲骨の解剖学	
	各コマに おける 授業予定	概論 肩甲骨			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	三角筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)三角筋の解剖学 (予習課題)三角筋の触察	
	各コマに おける 授業予定	筋の触察「三角筋」			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	僧帽筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)僧帽筋の解剖学 (予習課題)僧帽筋の触察	
	各コマに おける 授業予定	筋の触察「僧帽筋」			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	広背筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)広背筋の解剖学 (予習課題)広背筋の触察	
	各コマに おける 授業予定	筋の触察「広背筋」			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	上腕二頭筋、上腕筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題)上腕二頭筋、上腕筋 の解剖学 (予習課題)上腕二頭筋、上腕筋 の触察	
	各コマに おける 授業予定	筋の触察「上腕二頭筋、上腕筋」			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	上腕三頭筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 上腕三頭筋の解剖学 (予習課題) 上腕三頭筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「上腕三頭筋」		
第7回	授業を通じての到達目標	大胸筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 大胸筋の解剖学 (予習課題) 大胸筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「大胸筋」		
第8回	授業を通じての到達目標	腹直筋、腸腰筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 腹直筋、腸腰筋の解剖学 (予習課題) 腹直筋、腸腰筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「腹直筋、腸腰筋」		
第9回	授業を通じての到達目標	大殿筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 大殿筋の解剖学 (予習課題) 大殿筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「大殿筋」		
第10回	授業を通じての到達目標	中殿筋、大腿筋膜張筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 中殿筋、大腿筋膜張筋の解剖学 (予習課題) 中殿筋、大腿筋膜張筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「中殿筋、大腿筋膜張筋」		
第11回	授業を通じての到達目標	薄筋・縫工筋・長内転筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 薄筋・縫工筋・長内転筋の解剖学 (予習課題) 薄筋・縫工筋・長内転筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「薄筋・縫工筋・長内転筋」		
第12回	授業を通じての到達目標	大腿直筋、内側広筋、外側広筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 大腿直筋、内側広筋、外側広筋の解剖学 (予習課題) 大腿直筋、内側広筋、外側広筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「大腿直筋、内側広筋、外側広筋」		
第13回	授業を通じての到達目標	半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋の解剖学 (予習課題) 半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋」		
第14回	授業を通じての到達目標	腓腹筋、ヒラメ筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 腓腹筋、ヒラメ筋の解剖学 (予習課題) 腓腹筋、ヒラメ筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「腓腹筋、ヒラメ筋」		
第15回	授業を通じての到達目標	前脛骨筋、長・短腓骨筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	(復習課題) 前脛骨筋、長・短腓骨筋の解剖学 (予習課題) 前脛骨筋、長・短腓骨筋の触察
	各コマにおける授業予定	筋の触察「前脛骨筋、長・短腓骨筋」		